

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 8 日

評価対象事業	健康	-	47	がん検診事業				☐ 法定受託事務
所管課	健康福祉部 市民健康課				評価者	市民健康課長 那須 文嘉		
一般	会計	款	20	項	5	目	15	
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉			施策の方針名	健康長寿社会の構築		

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民	意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	各種がん検診 乳がんマンモグラフィ 集団検診等	各種がん検診 乳がんマンモグラフィ 集団検診等	各種がん検診 乳がんマンモグラフィ 集団検診等
予算額（千円）	338,200	359,844	
国県支出金	56	144	
地方債			
その他	1,541	464	
一般財源	336,603	359,236	0
当初人員配置数	4.0	2.5	0.0
人件費（千円）	26,992	14,725	0
事業実績	がん検診 乳がんマンモグラフィ 集団検診等		
決算額（千円）	322,168		
国県支出金	152		
地方債			
その他	2,874		
一般財源	319,142	0	0
人員配置実績数	4.0	0.0	0.0
人件費（千円）	26,230	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	精密検査未受診者の追跡業務	件	1,520	⇒	1,641		
活1	実績につながる活動	一次検診の結果が「要精密検査」となった対象者で、一次検診受診後2か月以上を経過しても精検未受診となっている人に対して受診勧奨の電話がけを行う。						

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	精密検査未受診者へ受診勧奨の電話がけの実施により、がんの早期発見に寄与することができている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	がん検診後の精密検査受診率（健康増進法に定める5つのがん検診の平均値）	%	87.3	↗	暫定値 67.9			1
成2								
成3								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	成果指標（アウトカム）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	成果指標No.1について、前年度87.3%に対して67.9%となり、減少している。胃がん内視鏡は毎年100%に近い実績を保っているが、内視鏡以外の4つの検診で受診率の低下が見られる。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	がん検診後の精密検査受診率（成果指標）は昨年度から向上していないため、施策の方針の達成に貢献している事業であるものの、目的にそった十分な成果があったとは言えない。しかし、現時点は前期追跡業務の実施のみの結果であり、後期追跡業務を実施することで精密検査受診率の向上を図る。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☒ できる	☐ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☐ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☒ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 健康診査 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	取組について、概ね計画通りに進んでいるが、現時点では計画通りの成果につながっていない。引き続き、精密検査未受診者へ受診勧奨をすることで、検診の目的である、がんや疾病の早期発見を図る。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		来年度以降に事業を統合するため、統合した事業の他市比較・ベンチマークを行っていく。							